



優勝で今季を締めくくった大越の2回目

大越(東海大札幌) 3連勝

アルペンスキー

■FIS野沢温泉力
 ツプ第3日(9日・長野県野沢温泉) 国際スキー連盟(FIS)公認大会の今季国内最終戦。最終日は男女回転を行い、大越龍之介(東海大札幌)が合計タイム1分49秒45で優勝、7日の大回転、8

日の回転に続く3連勝を飾った。2位には皆川賢太郎(アルビレックス新潟、北照高出)が入った。佐々木明(PJM、北照高出)と湯浅直樹(スポーツアルペンクワッド東海大)は出場していない。女子は星瑞枝(日本体大)が勝ち、2日連続

の優勝。全日本選手権回転の覇者、武田未波(札幌・専門職組合ク)が3位に入った。

▽男子回転 ①大越龍之介(東海大札幌) 1分49秒45(55秒53、53秒92) ②皆川(アルビレックス新潟、北照高出) 1分51秒13 ③山本(法大) 1分51秒67
 ▼女子回転 ①星瑞枝(日本体大) 1分46秒46(53秒35、53秒11) ②水口(早大) 1分48秒01 ③武田(札幌・専門職組合ク) 1分48秒20

ブエナビスタ5枠9番桜花賞

中央競馬のクラシックレース開幕戦、第69回桜花賞(12日・阪神10R1600)は芝18頭、GIの枠順が9日に決まり、阪神ジュベナイルフィリーズ、チューリップ賞を制したブエナビスタは⑤枠9番に入った。

阪神ジュベナイルフィリーズ2着のタノンベルベールは①枠1番、2戦2勝のレッド

いい経験できた

4日連続で行われた今季最終戦シリーズを3連勝で締めくくった大越は「勝負にこだわる人間としてはうれしい。ただ、初日も勝てれば最高だった」と冗談まじりに笑顔を見せた。

FISポイントの更新を目標に出場。1、

2回目ともラップタイムの快走で、14点台の前半とまずまずの高ポイントを獲得した。皆川や湯浅らに続く存在として今季はW杯出場も果たした。バンクーバー五輪を目指す20歳は「いい経験ができた」と振り返った。

ラットは③枠6番からのスタートになった。馬券は11日から全国で前売りされる。

第2回中央阪神競馬

(6日目・12日)

◇第10 桜花賞 G I 1600m (18頭) 発走15時40分

①	スィイカゴ	(55)後松
②	ルチサドマ	(55)藤岡
③	ベノカウミト	(55)幸
④	ルチサドマ	(55)村武
⑤	ブエナビスタ	(55)藤岡
⑥	ルチサドマ	(55)北藤
⑦	ルチサドマ	(55)安藤
⑧	ルチサドマ	(55)川島
⑨	ルチサドマ	(55)池田
⑩	ルチサドマ	(55)小福
⑪	ルチサドマ	(55)佐藤
⑫	ルチサドマ	(55)横山
⑬	ルチサドマ	(55)藤岡
⑭	ルチサドマ	(55)藤岡
⑮	ルチサドマ	(55)藤岡
⑯	ルチサドマ	(55)藤岡
⑰	ルチサドマ	(55)藤岡
⑱	ルチサドマ	(55)藤岡

競馬の出走表、成績は主催者発行のものとの照合、確認してください。